

# 基督教教学研究

第 26 号

論文

ヨブ記解釈の諸問題

——文芸作品としてのヨブ記——

勝村弘也

1

ニュツサのグレゴリオスによる説教「施し」

土井健司

45

アウグスティヌスの予定論

——セミペラギアニスムス論争に関する試論——

小池三郎

67

研究

偽ディオニシオス・アレオパギテースにおける神の隠れと闇

大月栄子

103

無からの創造

——古代教父思想における神の超越性——

津田謙治

117

行為の源泉としての意志

——ハンナ・アーレントの行為概念再考——

今出敏彦

131

パウル・テイリツヒの聖霊理解

——霊の普遍性・創造性について——

鬼頭葉子

143

内村鑑三における信仰と愛との関連

——個人の信仰、隣人愛から社会性へ——

岩野祐介

157

パネンベルク『神学的観点における人間学』(一九八三年)の中心課題

濱崎雅孝

171

彙報

## 彙報

### 二〇〇六年度基督教学専修講義題目

片柳榮一 教授

講義 「キリスト教学概論」

特殊講義 「時と永遠」

演習 「アウグスティヌス『三一神論』を読む(原典演習)」

演習 「ローマ書を読む(原典演習)」

演習 「キルケゴールを読む(デナムマーク語演習)」

演習 「アウグスティヌス『三一神論』を読む(原典演習)」

芦名定道 助教授

特殊講義 「自然の諸問題から公共性へ——キリスト教思想の視点から——」

演習 「日本・アジアのキリスト教——植村正久(2)——」

演習 「日本・アジアのキリスト教——植村正久(2)——」

演習 「宗教と科学の新たな関係構築に向けて——プロヤス神学(一)——」

演習 「宗教と科学の新たな関係構築に向けて——プロヤス神学(一)——」

*Postmodernism and Public Policy* (52)

演習 「キリスト教思想研究の現在」

片柳榮一教授・芦名定道助教授

演習 「キリスト教学の諸問題」

森 哲郎 講師

特殊講義 「西田哲学とキリスト教(2)——場所的論理と宗教的世界観——」

と宗教的世界観——」

竹原創一 講師

特殊講義 「ルターの初期聖書註解講義」

勝村弘也 講師

語学 「ヘブライ語文法と講読」

佐藤啓介 講師

講読 「現代キリスト教思想基礎文献の講読」(Berhard Jungel, *Gott als Geheimnis der Welt*)

hard Jungel, *Gott als Geheimnis der Welt*

## 京都大学基督教学会規約

- 一、本会は京都大学基督教学会と称し、事務局を京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科キリスト教学研究室に置く。
  - 二、本会は基督教学研究の進展を目的とする。
  - 三、本会は前条の目的を達成するために以下の事業を行う。
    - (一) 研究発表会、講演会などの開催
    - (二) 学会誌「基督教学研究」の発行
    - (三) 内外の研究機関及び研究者との相互交流
    - (四) その他の必要な事業
  - 四、本会は基督教学研究に従事する者、もしくは本会の趣旨に賛同する者をもって会員とする。入会は委員会の承認による。
  - 五、本会の経費は、会費、寄付金、その他の収入をもつてこれに充てる。
 

会員は年会費五千元を納めるものとする。会員のうち年額一〇五千元を二〇以上納めるものを維持会員とする。
  - 六、本会の運営のために次の委員を置く。
    - (一) 代表者 (一名)
    - (二) 委員 (若干名)
    - (三) 監事 (一名)
- 七、代表者、委員、監事は会員の間から選出し、任期を二年とし、再選を妨げない。
 

本会は毎年総会を開き、会計及び一般報告を行い、必要事項を協議する。
  - 八、本規約は委員会の発議に基づき、総会において変更することができる。
 

(本規約は一九九八年一二月から施行する。)

代表者…高野晃兆  
 委員…林 忠良、片柳榮一、宮庄哲夫、勝村弘也、  
 芦名定道、武藤慎一、竹田文彦  
 監事…水垣 渉

執筆 者

勝村 弘 也 神戸松蔭女子学院大学文学部教授  
土井 健 司 関西学院大学教授  
（做）小池 三 郎 京都産業大学名誉教授  
大月 栄 子 京都大学大学院文学研究科後期課程学修  
津 田 謙 治 明治学院大学非常勤講師  
今 出 敏 彦 京都大学大学院文学研究科後期課程学修  
鬼 頭 葉 子 京都大学大学院文学研究科後期課程  
岩 野 祐 介 京都大学大学院文学研究科後期課程  
濱 崎 雅 孝 京都大学大学院文学研究科後期課程

『基督教学研究』投稿規定

- 一、寄稿者は本学会員にかぎる。
- 二、内容は未発表の学術論文であること。採否ならびに掲載の時期は、査読委員による査読の報告に基づき、編集委員会が決定する。
- 三、寄稿原稿は、論文については四〇〇字詰原稿用紙四〇〜五〇枚（註・図表などを含む）相当、研究については三〇枚相当とする。
- 四、寄稿原稿の執筆細目および査読審査規定については、別途、原稿執筆要項等の内規にて定めることとする。
- 五、寄稿原稿には、欧文タイトル、執筆者欧文氏名を付記すること。
- 六、原稿が採用された場合、執筆者には抜刷三〇部を贈呈する。（本規定は二〇〇〇年一月二六日から施行する）

第二十六号編集実務委員会

高野晃兆  
林忠良  
片柳榮一  
宮庄哲夫  
勝村弘也  
芦名定道  
武藤慎一  
竹田文彦

二〇〇六年十二月二十日印刷  
二〇〇六年十二月三十日発行

定価一五七五円  
(本体一五〇〇円)

発行者

京都大学基督教学会  
京都市左京区吉田本町  
京都大学大学院文学研究科  
キリスト教学研究室内

発行人

高野晃兆

発売元

(株)一麦出版社  
札幌市南区北ノ沢3丁目4-10

印刷所

(株)アイワード

本誌の御註文は、最寄のキリスト教書店、  
もしくは、右記、京都大学基督教学会(振  
替〇一〇三〇一五―七二〇七)へ、送料と  
も一七八五円(定価一五七五円)、送料二一  
〇円)を添えてお申込み下さい。

JOURNAL  
OF  
CHRISTIAN STUDIES  
KIRISUTOKYOGAKU KENKYU

---

---

Vol.26

December, 2006

---

---

Contents

- Some Observations on the Literary*  
*Devices of the Book of Job* .....Hiroya Katsumura
- Gregory of Nyssa's sermon "On Good Works"* .....Doi Kenji (tr.)
- Augustine's Theory of Predestination—*  
*Essay on his Semipelagianian Controversy* .....Saburo Koike
- De caligine et occultatione Dei in Pseudo-Dionysio* .....Eiko Ootsuki
- Creatio ex nihilo—Die Transzendenzdes*  
*Gottes in der patristischen Lehre*.....Kenji Tsuda
- The Will as the Spring of Action—A Rethinking of*  
*Hannah Arendt's Action Theory* .....Toshihiko Imade
- Paul Tillich's Understanding of the Spirit—*  
*The Universality and the Creativity of the Spirit* .....Yoko Kito
- Relation of Faith and Love in Kanzo Uchimura* .....Yusuke Iwano
- The Central Theme of*  
*Pannenberg's Anthropology* .....Masataka Hamazaki

THE SOCIETY OF CHRISTIAN STUDIES  
KYOTO UNIVERSITY

Kyoto Japan